

自主貢献

あいさつは あふれる笑顔の あいことば

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikidai/>

横浜市立錦台中学校 学校だより

発行日 令和元年5月31日(金)

発行者 学校長 森 健太郎

所在地 神奈川区西寺尾三丁目10番1号

電話 401-3644 FAX431-0244

引退

校長 森 健太郎

先日、「ジャイアンツの上原選手が44歳で現役引退」のニュースがありました。イチロー選手に続き、私の応援していた選手の引退ニュースは寂しいものがあります。上原選手といえばMLBボストンレッドソックスでクローザーとして活躍し、2013年ワールドシリーズ優勝投手になった時のことを良く覚えています。

上原選手は巨人、メジャーリーグでの背番号は常に19番を付けていました。なぜ上原選手が19番を付けているかを皆さんに紹介したいと思います。19番は自分の19歳の時を忘れないようにしているために付けていたそうです。19歳の時に何があったかという、実は大学受験に失敗して浪人して受験勉強をしていたそうです。上原選手は高校生の時、それほど注目された選手ではありませんでした。控えピッチャーで、公式戦で投げた試合はわずか3試合だったそうです。でも、大学で野球を続けたいと思い、自宅から通える大阪体育大学を目指しました。それは推薦入学枠があったからでした。ところがチームメイトの一人が急に同じ大学の推薦枠で受験することになりました。その選手の方が、成績がはるかによいので、結果上原選手は一般入試で受験しましたが、結果は不合格でした。それまで野球ばかりで勉強を全くしていなかったのです。

浪人した1年間は死にものぐるいで参考書、問題集と格闘し、それこそ過去の18年間を一気に取り戻すつもりで机にかじりついていました。間違いなくその1年間で人生で最も真剣に勉強したと上原選手は語っていました。その1年間上原選手は野球を封印し、一切ボールを握らず、週3回スポーツジムに通って体作りを心がけたそうです。1年後上原選手は再チャレンジし、大阪体育大学に合格しました。1年間浪人生活を送るといのはスポーツ選手にとって大きなマイナスです。上原選手が浪人生活を送っているとき、同学年の前ジャイアンツ監督高橋由伸選手や、元中日エース川上憲伸選手が進学先の大学で頭角を現していたそうです。しかし、そのとき焦りにも似た感情を上原選手は大きな力へと変えていきました。「自分も追いつけるよう頑張らなければ」というモチベーションにつなげたのです。のちに上原選手は「受験に失敗することなくすんなり大学に合格していたら、その後の人生は大きく違っていたと思う。同じ年で活躍する選手への対抗心も燃え上がらなかつただろう。」と語っています。そして上原選手は日本、アメリカで活躍し、今年21年間の選手生活から引退しました。

皆さんの人生はこれからすべてうまくいくとは限りません。上原選手のように挫折するときがあるかもしれません。でも、そのときにどんなに苦しくてもそれを乗り越えることができたとき、大きな成長を身に付け、その後の人生が開けることと思います。

今後どのような困難が待ち構えていても乗り越え、どうか、すばらしい人生を作り上げてもらいたいと思います。